



ASSIST

2018.6
No.44

帝京大学医学部附属病院



contents

内科学講座 教授就任のご挨拶

帝京大学医学部内科学講座

腎臓 教授 **柴田 茂**

内科学講座 准教授就任のご挨拶

帝京大学医学部内科学講座

消化器 准教授 **浅岡 良成**

内科学講座 准教授就任のご挨拶

帝京大学医学部内科学講座

内分泌代謝・糖尿病 准教授 **宇野 健司**

脳神経外科学講座 病院教授就任のご挨拶

帝京大学医学部脳神経外科学講座

病院教授 **小野田 恵介**

内科学講座主任教授就任のご挨拶

この度、滝川一教授より内科学講座主任教授を引き継ぎました塚本和久です。帝京大学内科の特色は、専門診療科が独立したユニットをもって先進的な医療を提供する一方で、入院診療においては総合内科を設けて各内科専門診療科からスタッフを供出し、総合内科診療にあたっていることです。そして、内科として一つの講座であるゆえに各専門診療科のつながりが強く、外来診療においても風通しの良い診療を提供しています。今まで築き上げてきたこのような内科診療体制を医局員一同更に推進してまいりますので、宜しくお願い致します。



内科学講座主任教授
塚本 和久

内科学講座 教授就任のご挨拶

慢性腎臓病の克服を目指して

腎臓

帝京大学医学部内科学講座
教授 柴田 茂

2018年4月1日より内科学講座教授に就任いたしました柴田 茂（しばた しげる）と申します。私は東京大学を卒業後、虎の門病院・公立昭和病院・東京大学医学部附属病院・米国エール大学にて臨床および基礎研究を積んだのち、4年前から本学に勤務させて頂いております。専門領域は腎臓病学で、慢性腎臓病や高血圧、糖尿病性腎臓病をはじめ、急性腎障害や腎炎・ネフローゼ、電解質異常、多発性嚢胞腎さらには腎代替療法など幅広く担当させて頂いております。

慢性腎臓病はCKD（Chronic Kidney Disease）とも呼ばれますが、成人8人に1人が罹患している新たな国民病と言われています。CKDは慢性腎不全の予備軍であるだけでなく、治療抵抗性の高血圧や、心筋梗塞・脳卒中といった心血管病の原因となることが知られており、早期発見・早期介入が最も重要です。CKDの発症・進展の防止のためにはまずは生活習慣病の改善が基本となります。降圧薬、糖尿病薬、高脂血症薬、尿酸降下薬、リン吸着薬など複数の薬

剤を患者さんの状態や希望に合わせて上手に使う必要があります。そのためには、看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床工学士・ケースワーカーの方々との多職種連携は欠かせません。また、腎臓病についての理解を深めて頂くため、当科では患者さん・ご家族あるいは興味ある一般の方を対象に、年4回シリーズで帝京CKD教室を開催しております。今後の開催予定につきましては院内に設置したポスターあるいは当科ホームページ

(<http://www2.med.teikyo-u.ac.jp/nephrology/>) にして確認ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

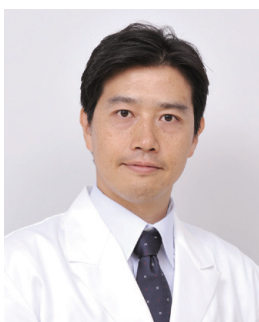
同時に城北地域の先生方とは、さまざまな研究会やセミナーを通して、「顔の見える関係」を構築し、「ふたり主治医」制を推進しております。CKDの克服を目指して、地域で支える医療に貢献したいと思っておりますので、引き続きご理解とご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



CKD教室（2018年5月15日）



腎生検の様子



帝京大学医学部内科学講座 教授
柴田 茂（しばた しげる）

1999年 東京大学医学部医学科 卒業
1999年 虎の門病院 内科レジデント
2001年 公立昭和病院 救急医学科・腎臓内科 後期レジデント
2003年 東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科帰局
2007年 東京大学大学院医学系研究科 修了（医学博士）
2010年 米国エール大学医学部 留学
2014年 帝京大学医学部内科学講座 准教授
2018年4月より現職

お問い合わせ先：

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL:03-3964-1498

FAX:03-3964-9849

紹介状をお持ちの方の
初診外来予約。

内科学講座 准教授就任のご挨拶 切れ目のない肝癌診療を目指して

消化器

帝京大学医学部内科学講座
准教授 浅岡 良成

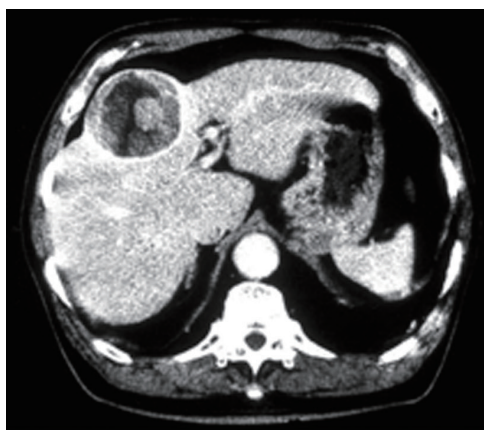
2018年4月より内科学講座（消化器内科）に就任いたしました浅岡良成（あさおか よしなり）と申します。3月まで在籍していた東京大学医学部附属病院消化器内科では、肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法（RFA）と分子標的治療を専門に行っていました。

肝細胞癌の治療法は特徴的で、多くの癌では、外科的切除（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線治療が主要な治療であるのに対し、肝細胞癌では、外科的切除のほかに、RFAとカテーテルを用いた肝動脈化学塞栓療法（TACE）という治療も重要です。それぞれ長所・短所がありますが、RFAとTACEは比較的体の負担が少ないため、肝機能が低下し手術を受けられない患者さんでも治療が可能です。私が専門とするRFAは、局所麻酔のみで1mm程度の針を肋骨の間やみぞおちから肝臓の中にある癌の部位まで超音波で観察しながらすめ、針の周囲を高温にすることで癌を死滅させる治療法です。正確かつ安全に針をすすめることが重要ですが、肝臓内のだ

のような部位に癌があっても同様に治療するのは必ずしも容易ではありません。東大病院は、RFA治療歴が10,000件をこえる世界で有数の施設であり、そこでの経験を活かして、当院で有効かつ安全な治療を行っていただきたいと考えております。当院の外科の先生方による切除、放射線科の先生方によるTACEの技術は高い評判を受けております。近年チーム医療の重要性が言われておりますが、肝細胞癌の治療に関しては、まさに外科、放射線科、内科によるチーム医療が患者さんの予後延長に直結すると思われま

す。また分子標的治療は、この10年ほどで進歩した転移などを伴う進行した肝細胞癌に対する薬による治療です。注目を集める領域ではありますが、手や足の皮膚が痛くなるなどの特徴的な副作用があり、こちらも科横断的なケアが必要になります。

各科の先生方と協力し、肝細胞癌に対する質の高いチーム医療を目指していきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。



肝細胞癌



RFA施行後



RFA施行時の様子



帝京大学医学部内科学講座 准教授
浅岡 良成 （あさおか よしなり）

1999年 東京大学医学部卒業
1999年 東京大学医学部附属病院内科
2000年 三井記念病院内科
2006年 東京大学大学院医学系研究科修了
2006年 東京大学医学部附属病院消化器内科医員
2007年 東京大学医学部附属病院検診部助教
2009年 東京大学医学部附属病院消化器内科助教
2018年4月より現職

お問い合わせ先:

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL: 03-3964-1498

FAX: 03-3964-9849

紹介状をお持ちの方の
初診外来予約。

内科学講座 准教授就任のご挨拶

糖尿病・肥満症の病態解明と治療に向けて

内分泌代謝・糖尿病

帝京大学医学部内科学講座
准教授 宇野 健司

このたび東京の地で、新たに皆様と一緒に仕事をする機会をいただき、今年度の4月から医学部内科学講座、内分泌代謝・糖尿病内科に准教授として就任いたしました宇野健司と申します。専門分野は、内科学の糖尿病学、代謝学、肥満症学でございます。これまで東北大学病院に在籍し、特に宮城県の糖尿病医療に携わって参りました。

糖尿病を含めたメタボリックシンドロームは、飽食の現代にあつて多様化する生活スタイルや高齢化を背景に、その患者数が増加の一途を辿っております。そして、食事栄養面や加齢に伴う運動・社会活動の低下など様々な要因が絡み合い、糖尿病の管理は困難になる場合が多々見られます。

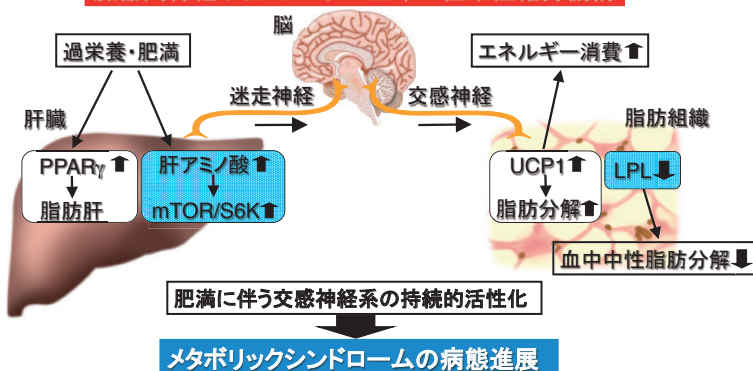
昨今、糖尿病に対する、これまでは異なる作用機序を有する薬剤が幾つも開発され、実際に日常の診療で使用されております。患者さんの生活スタイルを念頭に置きつつ、こうした多種多様な薬剤をうまく組み合わせることで、糖尿病管理の改善が期待されます。また、看護師、管理栄養士、薬剤師な

ど多職種にまたがったコメディカルの方々との綿密な医療連携が、糖尿病医療には必要でありますし、合併症の観点からは他科の先生方との連携も大切と考えられます。そこで、わたしはこれまでの臨床で得られた経験を基にして、こちらでもお役に立てるように頑張っていければと考えております。

一方で、前任地では糖尿病や肥満症の病態を解明すべく、モデルマウスの基礎研究を行ってきました。その中で、体内には糖・エネルギー・脂質代謝を調節する臓器間神経ネットワークが存在し、全身の栄養素代謝の恒常性維持を担う役割を有していることが分かりました。

これからは、糖尿病やメタボリックシンドロームに対する日常臨床を基盤として出てくる疑問点を、基礎的な研究で実際に解き明かすことができるような、新たな取り組みを少しずつ進めていきたいと考えております。皆様、これからもどうぞよろしくお願いたします。

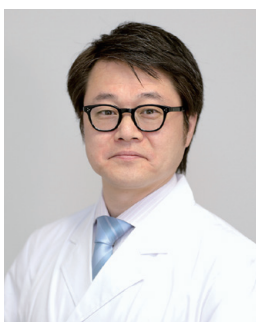
臓器間神経ネットワーク=生命の恒常性維持機構



臓器間ネットワークとメタボリックシンドローム



カンファレンスの風景



帝京大学医学部内科学講座 准教授
宇野 健司 (うの けんじ)

2000年3月 東北大学医学部医学科卒業

2000年4月～2003年3月 福島県いわき市立総合磐城共立病院

2003年4月～2007年3月 東北大学大学院医学系研究科 博士課程
(東北大学病院糖尿病代謝科)

2007年4月～2010年3月 日本学術特別研究員(東北大学病院糖尿病代謝科)

2010年4月～2014年12月 東北大学病院糖尿病代謝科 助教

2015年1月～2018年3月 東北大学病院糖尿病代謝科 院内講師

2018年4月より現職

お問い合わせ先:

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL: 03-3964-1498

FAX: 03-3964-9849

紹介状をお持ちの方の
初診外来予約。

脳神経外科学講座 病院教授就任のご挨拶 三叉神経痛・顔面痙攣専門外来開設のお知らせ

帝京大学医学部脳神経外科学講座
病院教授 小野田 恵介

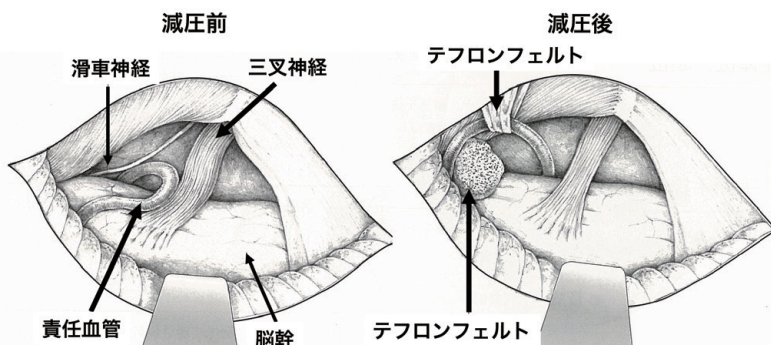
このたび4月1日付で脳神経外科学講座松野主任教授のもと病院教授として勤務させていただくことになりました。小野田恵介と申します。前任地は基幹病院である岡山赤十字病院で脳神経外科部長として地域に根ざし10年間手術等の陣頭指揮をとってまいりました。現在まで脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍、脊髄手術など一通りの手術はこなしてきました。帝京大学では後頭蓋窩の腫瘍、三叉神経痛、顔面痙攣に対する治療を専門として診療にあたりたいと思います。また学生教育担当者として教育にも力を入れていくように努めてまいります。

三叉神経痛は食事、洗顔などを誘因として顔面に電撃痛が出現するもので、患者さんは耐え難い痛みと表現されます。顔面痙攣は片側で特に意図しないのに顔がピクピク動くというもので眼瞼部より広がることも多いです。ともに患者さんにとって多大なストレスとなるものです。三叉神経痛、顔面痙攣の手術は後耳介

部を5cm切開し、500円玉程度の開頭を行ういわゆる鍵穴手術といわれるもので繊細な操作が要求されます。手術は本質的治療で、図のように三叉神経を圧迫する責任血管を移動させ、神経の変形を改善させるものであります。難聴が合併症として挙げられますが、聴性脳幹反応(ABR)を術中にモニタリングし合併症の出現を防ぐよう努力しております。手術時間は平均1時間20分、出血は少量、入院期間は10日です。術前にMRIを駆使し責任血管を突き止めるようにしております。これまで私は三叉神経痛、顔面痙攣に対し500例を超える手術経験を積んでまいりました。そのうちの20%は再発例でかなり難易度が高く、危険性の高いもので、いろいろな医療機関よりご紹介いただいた例でしたが全例お断りせず手術にて合併症なく改善を得られております。

今回帝京大学にてお世話になることになりましたが松野先生のもと、地域医療に少しでも貢献出来たらと考えています。ご紹介いただいた患者さん一人一人に向き合い、自分なりに全力を尽くしてゆく所存ですのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

三叉神経痛の対する微小血管減圧術ですがテフロンフェルトを用い責任血管を移動させ三叉神経を減圧しております。



帝京大学医学部脳神経外科学講座 病院教授
小野田 恵介 (おのだ けいすけ)

1990年 島根医科大学(現島根大学)卒業 同年 岡山大学医学部脳神経外科入局
1996年 米国ワシントン大学医学部脳神経外科客員研究員
1998年 尾道市立市民病院脳神経外科
2004年 岡山大学大学院医歯薬総合研究科助教
2008年 岡山赤十字病院脳神経外科部長
2015年 同高度脳神経センター長兼任
2018年4月より現職

資格 医学博士(岡山大学)、日本脳神経外科学会専門医、指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
専門分野 三叉神経痛、顔面痙攣、頭蓋底腫瘍



お問い合わせ先:

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL: 03-3964-1498

FAX: 03-3964-9849

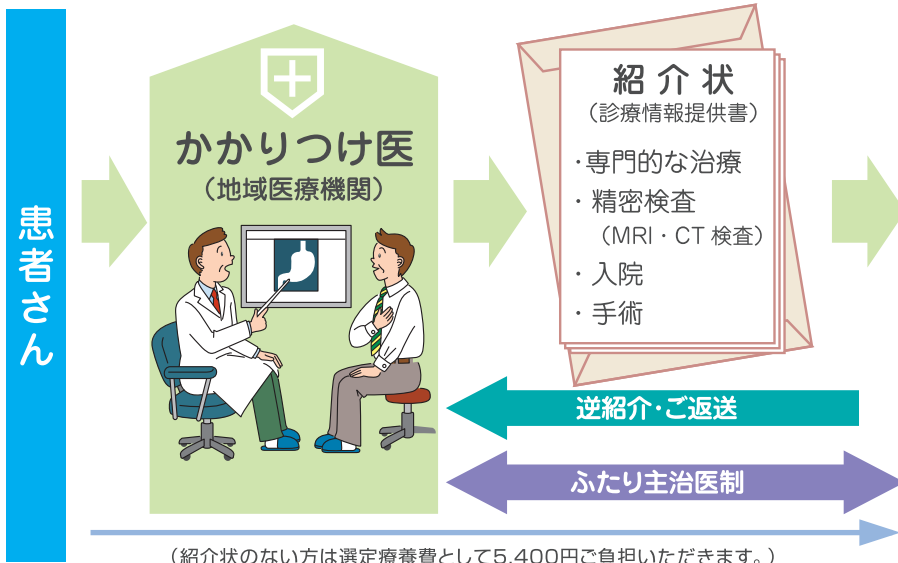
紹介状をお持ちの方の
初診外来予約。

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約*ができます。

※事前にお電話下さい

医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付 平 日 8:30~17:00
時 間 土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付 平 日 (予約あり) 8:30~14:30
時 間 (予約なし) 8:30~11:30
13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付
診療受付時間 平 日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30
直接初診受付へお越しください。
※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅
 - 北口より徒歩約10分
 - 北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅
 - A1出口より徒歩約13分
 - A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅
 - 西口①番のりばより
帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅
 - 東口⑤番のりばより
高円寺駅北口行き 乗311 (約11分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 西口⑥番のりばより王子駅行き 乗501 (約14分)
 - 「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分
 - 西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅
 - 北口⑥番のりばより
帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗522 (約12分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅
 - 西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 北口より約12分



特定機能病院
地域がん診療連携拠点病院
東京都災害拠点病院

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL.03-3964-1211 (代表)
お問い合わせ E-mail:renkei@med.teikyo-u.ac.jp

医療連携だより [アシスト]
Assist

帝京大学病院

検索

www.teikyo-hospital.jp

※所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

タクシーをご利用の場合 バスをご利用の場合 徒歩の場合